

訪問介護美容の洗髪(シャンプー)に於ける問題点と解決法

美容師は出張先でシャンプーをするのが苦手ですが、本来、美容師はとてもシャンプーが上手です。特に40代以上の美容師さんは新人見習いの頃に体で覚えさせられたので何年経っても体は忘れません。

しかしながら、前かがみのお客様を洗う時は、美容師の持っている技術を十分に発揮する事が難しいのです。お客様の首が不安定な為に力が入らず、気持ちの良いシャンプーを提供できません。化粧等をしている場合は前かがみでのシャンプーは不向きです。

<一般的美容室でのシャンプーの流れの説明>

- 1 お客様をシャンプーブースに案内し、シャンプー椅子に掛けてもらう。
- 2 クロスを掛けて椅子をうしろに倒し、頭をシャンプーボールの中へ。
- 3 シャワーを出して予洗をします。シャンプーの泡立ちを良くする為に、お湯で十分に髪と頭皮を濡らします。予洗で汚れの60～70%は落とせます。**1分30秒前後**
- 4 両手にシャンプーを取り、ワンシャン（1度目のシャンプー）を行います。髪の汚れや余分な頭皮の皮脂等を取り除くシャンプーです。**1～2分**
- 5 シャワーでシャンプーを洗い流します。**1～2分**
- 6 少量のシャンプーを取り、ツーシャン（2度目のシャンプー）に入ります。ここから美容師の本領発揮の時です。お客様に気持ちの良いシャンプーを味わってもらう為にマッサージ効果のあるテクニックを駆使し、刺激するテクニックを使用します。
(近年の美容室はこの部分を省いていることもあります) この場合シャンプーをしている美容師は前かがみの姿勢の為、腰にかなりの負担を感じてしまいます。
- 7 シャワーでシャンプーを念入りに洗い流します。泡立ちの良いシャンプーは活性剤を使用しているので、十分に流す必要があります。**1～2分**
- 8 アルカリ性のシャンプーを使用している場合はここでリンスをします。
- 9 余分なリンスを流して終了。

上記はごく一般的な美容室のシャンプー形態です。

お客様をご案内して終了するまでの所要時間は**12～15分位**です。

シャワーを使用している時間は約**5分位**です。

頭皮と髪を洗う為に後へ寝かせる必要があるのかと検証すると、答えは“NO”です。

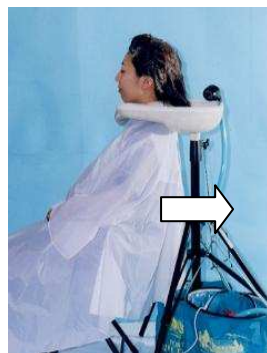
椅子に座ったままシッティングリアーシャンプーをすれば、頭皮のリンパ液の停滞や頭神経系のバランスを良くする事が出来、極楽気分が味わえます。

(流れ落ちないシャンプーが必要です)

問題はシャワーを使用している時間の5分間にあります。ここに注目して解決方法を考えました。

平成9年8月に製作した1号機

色んな欠点が浮き彫りとなる 改良を業者に頼むとえらい金額がかかるのでその後は手作りで試作を繰り返す。現状のニュー楽シャン君になるまでに50数回作り直しました。



に



数十回後のサンプ 完成近し



ニュー楽シャン君のベースになる シャワーは美容室用既製品



ニュー楽シャン君でお流し

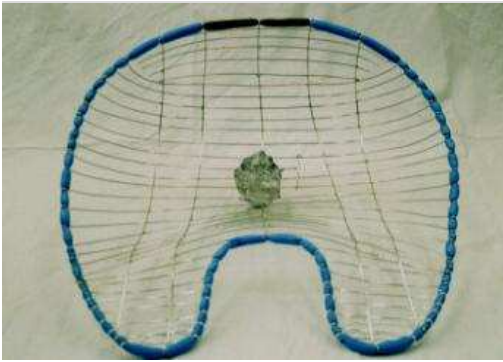


バケツと給湯ポンプ以外は全てオリジナル

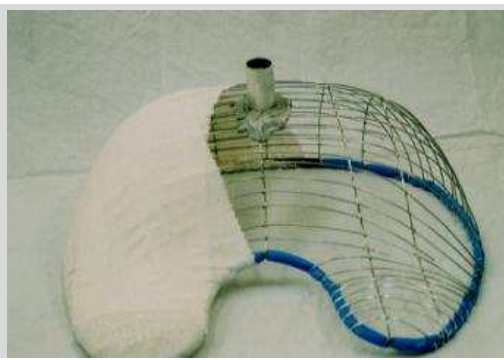
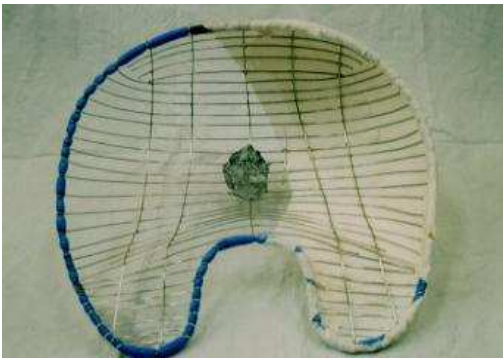
手造りシャンプーボール製作工程 (サンプル)

表面

裏面



針金を曲げて外枠と底の部位を繋ぐ



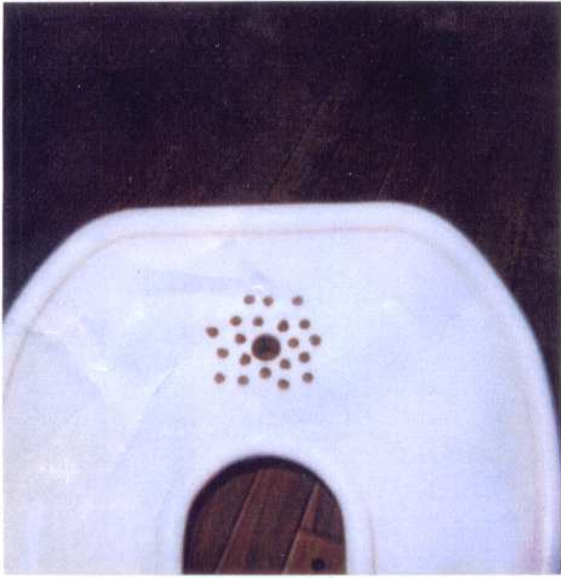
裏面に石工を張る 内側は紙粘土を満遍なく敷き詰め固める



エポキシ樹脂を塗布 排水性のペンキを3回塗って出来上がり

手造り楽シャン君の初期型 NHKにんげんどキュメントで放映された





突起小片をつけることで、髪の毛の排水溝へ流れ込みを防止できる。

「楽シャン君」は商標登録済み

特許取得平成14年7月 「携帯用洗髪台」

e-mail rakushankun@gmail.com

<http://www.akirey.com>